

「祝 小川小学校創立150周年」

小川地区公民館おがわちくこうみんかんに向かって車を走らせていると、小川小学校こがわしょうがくの校舎に色刷りの横断幕が貼られ「創立 150 周年」と大きく書かれていました。公民館しゅじ主事さんから6月1日に記念式典があると教えてもらいました。『野上町誌』によると、1873(明治6)年6月、小川村東福井練浴42番地に小学校を創立、小川八幡神社境内の神宮寺じんぐうじを校舎にしたとあります。教室坪数は22坪でした。境内全体が243坪ですので約10分の1の広さの校舎があったと推測できます。小川小学校沿革史によると教室の間口4間(約7.28m)奥行7間(約12.74m)と書かれていました。境内には、旧小川小学校跡地と記された碑が残っています。



1869(明治2)年、明治新政府が出した神仏分離令によって、境内にあった神宮寺は除去されることになりました。処理された年月はわかりませんが、「堂舎は明治9年の記録によると小学校校舎として使用している」(『野上町誌』)とあり、仏像や仏具などが取り払われ、その建物を再活用して小学校校舎にしたのではないかと思います。



小川小学校創立の前年となる1872(明治5)年8月に、国民皆学を目指す明治政府は学制を公布しています。学制の目的は「必ず皆に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」ため、また身分や男女の別なく「身を立の財本」である学問を学ばせることでした。満6歳になった男女を全て通わせることが義務となり、期間が3、4年

間でしたが1907(明治40)年に6年間に延長されました。また、授業料として毎月お金で6銭2厘5毛または米1升が必要でした。小学校の建設は地元住民の負担となり、実際には従来の寺子屋や郷学校を改めて小学校にする例が多かったようです。小川小学校も小川八幡神社の神宮寺を校舎としてスタートしたのです。(令和5年4月14日)